

—欠損補綴に対する外科的アプローチ—

検歯・歯の移植・再殖を応用した歯の保存

インプラント治療が歯科に導入されて久しい昨今、その福音に恩恵を授かる患者は多く、市民権を得た治療方法の一選択肢であることに疑いようの余地はない。また、口腔内に非機能歯が存在する症例や、部分的に健全歯質が認められる抜歯症例などでは、欠損補綴の一選択肢に歯の移植・再殖を考慮することも重要な懸案事項である。そのような場合、症例によっては一部保険適応であり、有用な方法であるが、多くの医院で行われているとは言い難いのが現状である。その理由として、卒前研修で学びが少ないこと、世に出されている成書が少なく、世界的コンセンサスが得られていないことがその理由であると考えられる。臨床で用いられる場合においても、なんとなくうまくいって、どうしてそうなったのか？深く考察されないままに経過している症例も多く、これからのコンセンサスの策定や成書の登場が期待される分野である。

本講演では、演者の臨床症例を供覧し、過去に報告されている論文との紐付けや、症例に対して、過去の報告との関連性を示した上で、歯の移植・再殖を応用した歯の保存について講演を行う。また、演者が2019年に報告した検歯についてもその理論、テクニックそして臨床症例を提示し、明日からの臨床に役立てる情報を聴講していただく先生方にお伝えする予定である。当日は、時間の許す限り、症例を提示する予定であるが、例を挙げると、4度進行性歯頸部吸収症の歯の保存の可能性や、垂直歯根破折歯の保存限界・実際の保存方法、歯の移植時の移植床の形成の実際について、動画を交え、演者のメソッドを提示する予定である。

記

日 時: 21年7月22日(木・祭) am9時～pm12時

講 師: 新名主 耕平先生(東京都 開業)

座 長: 助川 信太郎先生 (香川県立中央病院歯科口腔外科医長)

参加費: 会員 3,000円 未入会 10,000円

定 員: 30名(先着順)

参加費振込先 百十四銀行 本店営業部 普通 0595754
香川県保険医協会 会計 田中眞治(タナカシンジ)



※本セミナーは、ZOOMを使ったライブ配信によるWEBセミナーです。



【略歴】

鹿児島県出身
2003年 九州歯科大学卒業
2007年 同大学 大学院歯学研究科卒業 口腔外科学専攻 (菅野貴浩先生と同じ講座です)
2007年～2009年 九州歯科大学形態機能再建学講座 助教
2003年～2019年 都内歯科医院勤務
2019～ 新名主歯科・口腔外科医院開院

【資格】

日本口腔インプラント学会認定専門医
日本口腔外科学会 認定医

2021年7月22日(日)歯科セミナー申込用紙

お申込みは香川県保険医協会へfaxください fax 087-802-1336

医院名	ご氏名
ご住所	e-mail 後日事務局よりZOOMの視聴URLをお送りします @